

District News Letter

地区だより



Vol. **11**
2014.5.1

Governor's News Letter

ガバナー ニュースレター

2013-2014年度

国際ロータリー会長 **ロン D. バートン**

国際ロータリー第 2690 地区 (鳥取・島根・岡山)

2013-2014年度 ガバナー **森本 信一**

Content

- | | | | |
|----|-------------------------------|-------|-----------------------------|
| 2 | ガバナーメッセージ | 11 | 岡山岡南RC創立
20周年記念式典・祝宴を終えて |
| 3 | 2013学年度米山奨学生歓送会及び
学友総会開催報告 | 12~14 | 地区だより・文庫通信 |
| 4 | 青少年指導者養成プログラム(RYLA) | 15 | 出席報告 |
| 5 | 全国ローターアクト研修会報告 | | |
| 6 | 第3・4・5グループIM報告 | | |
| 7 | 第8・9グループIM報告 | | |
| 8 | 第6グループIM 報告 | | |
| 9 | 岡山北RC創立45周年記念式典を終えて | | |
| 10 | 岡山RC創立80周年式典を終えて | | |

旧津山扇形機関車庫

(近代化産業遺産) 津山市

JR津山駅構内にあり、1936年(昭和11年)に建設されました。全国でも現存している扇形機関庫は13ヶ所です。17線あり、京都の梅小路に次ぐ2番目の大きさです。車両の方向転換するための、転車台は、1930年(昭和5年)に設置され、現在も使用されています。写真は、1953年(昭和28年)頃の様子です。



ガバナーメッセージ

ガバナー 雑感

国際ロータリー第2690地区
(津山RC) ガバナー **森本 信一**



★ガバナー年度10カ月を終えて

昨年7月ガバナー就任以来、10カ月が経過しました。公式訪問に始まり、地区大会、該当するクラブの周年記念行事、インターシテミーティング、ロータリー財団関連活動、米山奨学生・青少年奉仕活動関連行事、ガバナー補佐会、諮問委員会、RI及び同期ガバナーの行事等々、少々オーバーですが、ロータリー活動に没頭した10ヶ月でした。幸い、第2690地区内各クラブのご協力、ご支援によりトラブルもなく今日を迎えることが出来たのは感謝の一言に尽きます。現在、私の懸念事項は、「単に行事をこなすだけだったのではないか 地区、クラブのために何か有用なことが出来たのだろうか」と自問する毎日です。

★地区目標達成の考え方

ロータリークラブは、会社、事業所のような縦割りの社会ではなく、「奉仕活動」のキーワードで結ばれた横の繋がりを重視する集まりです。従って、ロータリーでの目標は、一般の会社での目標と若干意味合いが異なると思います。兼ねてから、「結果が全てではない、目標達成への活動過程も重要である。」と公式訪問等で申し上げてきました。例えば、地区の会員増強目標5%は、「この目標に向けて努力することが重要で、もちろん達成すればベストだが、クラブとして最大限努力した結果3%の達成であれば、結果は未達でもそれに向けた努力は次年度に繋がり大いに意義がある。ロータリーの理念から外れる行動で結果を出してもそれは苦々しいだけではないか。(努力しないのは論外です。)」

これに異論を唱えられる方も居られることは承知しておりますが、本年度は私なりの考え方で地区目標の取組みを推進してきました。

★ロータリー活動の推移

1905年、ロータリーを創設したポール・ハリスは「ロータリーは時代と共に変化しなければならない。」と言われました。時々、古参会員から「昔のロータリーは良かった。今は当時のロータリーから、変化が大きくてついていけない。」

と嘆かれます。ロータリーに対して固定観念をお持ちの方だと思えます。具体的にロータリーの変えていかなければならないこと、ロータリーの変えてはならないことを考えてみました。

変えていかなければならないことは、

- ・多様性(2011年中核となる価値観で明記されました) 重要なキーポイントで、ロータリアン、職業、クラブの形態、運営等々。
- ・時代の変化に伴う 柔軟性、刷新性。
- ・情報革命に対応 E-クラブ 等。
- ・グローバル化。

変えてはならないことは

- ・超我の奉仕、奉仕の理念。
- ・職業奉仕の理念。(ロータリーの最大の特徴のひとつです)
- ・寛容の精神。
- ・高潔性。(2011年中核となる価値観で明記されました)
- ・仲間意識、絆。

ロータリー活動を行う上で心に留めておきたいことです。

★“会員”から“ロータリアン”へ

本年度ロン D.バートンRI会長は次のようなメッセージを發しておられます。

「推薦され、その推薦を受託することを選択し、ロータリーに入会しました。入会後も日々の選択を行っています。ロータリークラブの単なる一会員でいるか、真のロータリアンとなるかの選択です。」

大変含蓄のある言葉です。私は、バートン会長がある危機感を持たれてこう言われたのではないかと推察しています。“単なる一会員”が、なかなか“真のロータリアン”になってくれないと。

第2690地区の皆さん、バートン会長の意を汲んで“真のロータリアン”に挑戦してみませんか?

本年度も余すところ2カ月をきりました。残された期間、全力で頑張りますので、皆さま方の変わらぬご支援をお願い致します。

2013学年度米山奨学生歓送会及び学友総会開催報告

地区米山記念奨学会委員長 治郎丸清志



2013学年度米山奨学生歓送会及び第9回学友総会が、3月1日にピュアリティまきび(岡山)で開催されました。

当日は、森本信一ガバナー、伊藤文利米山記念奨学会評議員、脇利幸地区代表幹事、松本祐二ガバナーエレクトなど地区役員7名・地区米山記念奨学委員4名、終了奨学生10名(3名は欠席)、継続奨学生3名、学友9名のほか、終了奨学生の世話クラブ会長・カウンセラー17名など、総勢52名が参加しました。

前半の学友総会においては、森本信一ガバナー及び伊藤文利米山記念奨学会評議員の祝辞挨拶の

後、梁榮友学友会会長が、第9回学友総会の開催と学友会会報第2号の発行へのお礼挨拶をし、その中で会長退任と何暎麗新会長の就任が総会に諮られ、承認された。

その後、講師の榎原めぐみ氏(米山記念奨学会)が「学友会について」と題して講話をされ、米山記念奨学会の発展の歴史、国内外に展開する学友会ネットワークなどについて説明され、奨学生に対して、奨学期間終了後も世話クラブ・カウンセラーとの交流を続け、学友として活動するよう訴えられました。

後半の終了式では、森本信一ガバナーから終了奨学生及びカウンセラー1人1人に終了証と感謝状が手渡され、歓送会では、和やかな雰囲気の中で、終了奨学生、カウンセラー並びに学友の全員がショート・スピーチをして、米山記念奨学会やカウンセラーへの感謝、交流の喜び、忘れぬ報恩の思い、などが熱く語られました。

最後に、何暎麗学友会会長が、閉会の挨拶で終了奨学生、学友に「今後とも、滞在する国・地区の学友会に参加し、出来る時に出来ることを奉仕しよう」と呼び掛け、学友総会及び奨学生歓送会を閉会しました。



青少年指導者養成プログラム(RYLA)

地区新世代RYLA委員長 日笠 晴夫

3月23日(日)津山鶴山ホテルにて、本年度の青少年指導者養成プログラムを実施しました。当日は2690地区の各地よりロータリアンを含む63名の皆さんにお集まり頂きました。大勢の皆さんに参加していただいた事について、主催者を代表して感謝申し上げます。又、締め切り後も参加についての問い合わせをいただき、キャパシティの都合でお断り申し上げた事に関して深くお詫び申し上げます。

さて、今年度の指導者養成プログラムは、リーダーシップについて研修を受けてもらいました。このプログラムは、企業研修を請け負う富士ゼロックス教育研究所が、企業が抱える人材の指導力をつける為に開発し好評を博しています。弊社は、このメーカーの特約店という関係で、私自身が2年前に受講し感銘を受けたので、無理をいってRYLA用にアレンジしてもらい実施していただきました。講義や座学で情報の提供を受けるプログラムではなく、体験体感型で自らの受講生とコミュニケーションを取りながらプログラムを進める内容で参加された方は興味深く取組めたものと自負しています。

受講後の感想 小川さん(岡山RCより参加) 一日の受講を通じ普段自分が苦手としている内容の再確認が出来ました。初対面の人と話すのが得意ではないが、グループワークを通じて一つのものを作り上げて行け意義が有りました。明日から実行する事として、自分自身計画性が無いので、どのように克服したらよいか課題として取り組み成長していきたいと思います。



岡山 RCより参加 小川さん



オープニング自己紹介風景



グループワーク風景

ハイライトよねやま (公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース



★寄付金速報 — 2013-14年度もあと3カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べ1.9%増、約2,100万円の増加です。普通寄付金が0.02%増、特別寄付金が3.0%増となりました。前年度比マイナスが続いていた普通寄付金がほぼ例年並にまで回復し、特別寄付金も、7月からの累計額では直近5年間での最高額を維持し続けています。今後、残り3カ月の主な寄付金収入は特別寄付金となります。クラブ創立記念寄付も例年この時期に集中します。引き続き、皆さまからのご協力をよろしくお願い申し上げます。

全国ローターアクト研修会報告

第2690地区代表 西江 徳人

第26回全国ローターアクト研修会に参加しました。3月15日16日の二日間東京ビックサイトにて開催されました。年に一度、全国のローターアクトが集う大会で、今年は700名ほどの参加者となりました。今年のテーマは「日本のリーダー」ということで、メインプログラムは、日本各地から選ばれた我々と同世代の5人の現役社会人を講師に招き、それぞれの講師による5つワークショップを行いました。



私は2720地区の税理士の講師による「未来のじぶん設計書」を選びました。内容は自分の今の目標を設定し、その動機や今できていることでできていないこと、どういうプロセスで達成していくかを考え、グループ内で発表するという内容でした。様々な地域で働く方々の目標、意識を聞くことができ、また自分の目標に対するいろんな視点でのアドバイスをもらえとても有意義な時間を過ごせました。



東京地区の代表が言っていました、「アクトの魅力とは①社会貢献②経験③出会いである」と。まさにそれを実感できる二日間でした。

皆様のまわりに全国研修会にまだ参加されていない方がおられましたら、ぜひ参加されるようサポートいただけると幸いです。一人でも多くの方に「アクトの魅力」を実感して頂きたいと切に願います。



第4回 諮問委員会

■報告事項

- ① 持回り諮問委員会の結果について
 - ② 2016-17年度 ガバナーの信任について
 - ③ 「公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会」評議員の交替について
 - ④ 2014年度 米山記念奨学生選考結果について
 - ⑤ 国際大会登録状況について
 - ⑥ 規定審議会討議事項のアンケートについて
 - ⑦ 2013-14年度 RI提出 各種賞及び表彰について
意義ある業績賞について(岡山東 RC)
ロータリアン配偶者／パートナー奉仕功労賞(該当なし)
 - ⑧ ポリオ撲滅のための推奨年次目標基金の設定について
 - ⑨ 今後の行事予定について
 - ⑩ 「サクセスジャパン大作戦」の進捗について
 - ⑪ RI2690地区各クラブ会員増強の現況について
 - ⑫ その他
- ◆ 地区ロータリー財団事務所より
 - ◆ 松本ガバナーエレクト事務所より

日時:2014年3月8日(土)

13:00~14:30

会場:津山国際ホテル 3階 翔鶴殿

■次回開催日

2014年5月24日(土)

津山国際ホテル

第3・4・5グループ IM報告

松江東RC IM実行委員長 勝部 裕

去る3月2日、第3・4・5グループ(オール島根)のIMを、県都松江にて開催させて頂きました。当日は、森本信一ガバナー以下多数のロータリアンにご参集賜り、盛会裡に次回開催クラブにバトンを引き渡すことが出来ました。ここに改めて、関係各位のご協力に対し、心から厚く御礼を申し上げます。



さて前段、本来来賓に遇すべきガバナーを、あたかも一参加者の如く表記させて頂きました。お断わり申しておきますが、これはガバナーご自身の「私は主催者で、来賓では無い」とのお申し出を映したもので、決して誤記ではありません。現に、IM会場にあっては、終始「白色リボン胸徽章」を付けておられたのです。ややもすると、決議・拘束事項無きが為、国際ロータリーで軽んじられるIMに就き「会員相互の情報交換・親睦、並びに新入会員育成の場として有効」と唱えられる森本ガバナーの信条の発露と申せましょう。



ところで、此度のIMテーマ「心に残るロータリー体験」は、直接ガバナーより授かりました。それ故、お願いした基調講演も「得たりやおう!」と、ご快諾戴けたのでしよう。その基調講演の掉尾を飾ったご自身の体験談「電車内で席を譲った未亡人との邂逅」は、映画の一齣の如く情景が偲ばれ、情操豊かにして「心に残るロータリー」を如実に物語るもので、その後のIMの展開に多大な余韻を残す処となりました。つまり、続くパネルディスカッションで、各グループ選抜のパネリスト達には、夫々の「心に残るロータリー」への満腔の思いを、余すことなく披瀝して戴けたと云うことです。具体的には、第3グループには「自在な同好会設置を活かした親睦活動を」、第4グループには「子供達への伝統文化の継承活動を」、そして第5グループには「新興国に対する援助活動」をご紹介戴きました。



ロータリーへの思いは、夫々のクラブに夫々、また夫々のロータリアンに夫々存することを、そこはかとなく知らされたIMであったやに感じております。

第8・9グループIM報告

岡山東RC IM記録委員長 若林宣夫

3月9日(日)岡山プラザホテルにて、第8グループ高矢満雄ガバナー補佐・第9グループ糸島達也ガバナー補佐の主催によるIMが開催され、森本ガバナーの意を体して第9グループ更井正人IM実行委員長により、「ロータリーモメント一本に絞ったIM」となりました。来賓に渡辺好政元RI理事、森本信一ガバナー、森嵩正パストガバナー、松本祐二ガバナーエレクトらをお招きして、総勢370名が出席して行われました。



基調講演では、「私のロータリーモメント-未来予測-」と題して就実大学人文科学杉山慎策教授の講演がありました。杉山教授は学生時代にロータリー財団の奨学生に選ばれ、アメリカに留学したことが人生の大きな転換点になったと、ロータリーに感謝しておられました。未来予測については、漫然と迎える未来は孤独な貧困が待ち受けており、主体的に築く未来は自由で創造的的未来がある。岡山についてはクリエイティブ・シティにする、その為には教育の重要性を強く説かれておりました。



この後、パネルディスカッションが行われ、「私のロータリーモメント」をテーマに、第8グループ5名、第9グループ6名、計11名の会員によるスピーチがあり、この発表についてコーディネーター役の渡辺好政元RI理事から講評と講話がありました。人との出会い、ロータリーを通じての交流、スピーチコンテストなど教育のこと、外国への医療奉仕、諸外国との交流など、短い時間での素晴らしい発表を高く評価されました。又、ご自身のロータリーモメントも披露され、人生は出会いの連続でそれぞれの出会いに感動し、その感動を行動の起源にしようと思われました。



ガバナー所感では、ロータリーモメントを軸とした感銘深い充実したものとなり、参加の全ロータリアンにとって意義あるIMになった旨の賛辞がありました。

その後、次期ガバナー補佐の第8グループ中井靖典氏(真庭RC)、第9グループ駒澤勝氏(備前RC)の紹介、ご挨拶などがありました。

17時30分より懇親会が開かれ、森嵩正パストガバナーによる乾杯で祝宴がスタート。

岡山旭川RCの「GOLD5」によるジャズ演奏を楽しみながら、クラブ・グループを超えての親睦を深めることが出来、手に手つないでの大合唱で閉会となりました。

第6グループ IM報告

井原RC IM実行委員長 筒井 保太

IMの1週間前、2014年3月23日(日)に井原GCにて行いましたIM記念ゴルフコンペは快晴のもと約40名が参加してくださいました。参加者はクラブの枠を越えて存分に親睦を計る事が出来ました。



そして2014年3月30日(日)に森本信一ガバナー、森下パストガバナー、松本祐二ガバナーエレクト、脇利幸地区代表幹事のご臨席の下に井原市アクティブライフにて第6グループIMを開催いたしました。ホストクラブは井原RCです。第6グループ299名のうち180名が本会議に出席してくださいました。

本会議に引き続いて基調講演は「Eクラブの可能性」と題して、創立1年目の福山ロータリーEクラブ2710池田潤治会長にお願いしました。Eクラブ設立1年目の苦労と、これからのEクラブの可能性についてQ&A形式も交えて熱く講演して頂きました。創立1年目のEクラブでも米山奨学生の受け入れも出来るんだという強いメッセージを発信されました。



Q&Aでは「新会員の紹介、審査はどのようにしているのか?」「Eクラブの会長・幹事は誰でもできるのか?」「6万円の年会費で5大奉仕が十分できるのか?」「ロータリー経験のない新会員への教育は十分できるのか?」などEクラブに対して多くの素朴な質問に答えて頂きました。そして最後に池田会長にEクラブの可能性と豊富について聞かせて頂きました。今日までEクラブについて全く知識のない多くの会員が居られたことと思いますが、こんなに近い所にEクラブが有り、このような活動をしているんだとほんやり分かってもらえたものと思います。

基調講演の後、パネルディスカッションは第6グループ8クラブの全てのクラブからパネリストに出て頂き、Rotary Moment「心に残るロータリー体験」を語って頂きました。特筆すべき事は、森本ガバナーが飛び入りで「私のRotary Moment」を語られたことです。

基調講演、パネルディスカッションの後、ガバナー講評を頂きました。その中で、ロータリーの変わらなければならない事の一つにITを使ったEクラブが有り、変わる事を受け入れる寛容の精神が必要だとの事でした。

その他には、IMが時間通り進行し、運営が素晴らしかったとお褒めの言葉を頂きました。

懇親会は井笠地域地場産業振興センターで行いました。狭い会場ですが、手作りでのこもった懇親会を楽しんで頂きました。

楽しいIMにしようという目標を立てて1年間準備してきましたが、予定外のサプライズも多く、終始和やかなIMになりました。

第6グループ全クラブの協力のもとにIMが成功したものだと思っています。

岡山北RC創立45周年記念式典を終えて

岡山北RC会長 角南 真一

岡山北ロータリークラブは、2014年2月23日(日)、ホテルグランヴィア岡山にて創立45周年記念式典を開催いたしました。式典には、大森雅夫岡山市長、森本信一ガバナーをはじめ、多くのご来賓の皆様方に出席いただきました。心より感謝申し上げます。



記念式典のテーマは、「感謝と絆」としました。このテーマは、森本ガバナーをはじめ地区の皆様方のご厚情・ご支援に感謝し、そしてクラブ創立以来、先達会員の皆様方のご努力に敬意と感謝を表したいという気持ちと、会員相互の繋がりとしての絆、東日本大震災の被災地の皆様との絆を意味しています。我がクラブは、過去3年間「見直そう!鎮守の森」をテーマにコミュニティーの中心である神社に植樹を実施してきました。被災地では、寺社の倒壊により住民の皆さんの心のよりどころがなくなった地域があることを知り、石巻の釣石神社での植樹、被災された皆様との心の交流を記念事業としました。この記念事業の様子は、式典中DVDにて紹介させていただきました。



記念祝宴は、アトラクションとして、今回のテーマ「感謝と絆」にふさわしいということで、ソプラノ歌手で備前ロータリークラブ会員の村上彩子さんに歌っていただきました。



我がクラブは、1969年2月8日、岡山ロータリークラブをスポンサーとして会員30名によって創立されました。1994年には高知ガバナーを輩出し、会員数も一時100名を数えるまでになりましたが、以後次第に減少し、現在は47名で頑張っております。

私は、ロータリーを定義することは大きな意味を持たないのではないかと思います。ロータリーは、一つに世のため人のためにという「崇高な目的」を掲げること、もう一つには地域住民の皆様にとって本当にためになる「役に立つ活動」をすること、この2点を踏まえていればいいのではないかと思います。



岡山北ロータリークラブの45年を振り返ってみますと、先達の皆様方は、ロータリーに対して真面目に、そして本当に真剣に取り組んでおられました。理想を高く掲げ、「崇高な目的」に向けて、会員一丸となって努力をされておられました。そこには、会員相互の信頼があり、友情がありました。このような立派な伝統を次に伝えることが、今現在の私たちの役目であろうかと思います。今後とも、皆様方の更なるご厚情・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

岡山RC創立80周年式典を終えて

岡山RC創立80周年実行委員長 河原 昭文

岡山RCは本年3月3日、創立80周年を迎えました。1934(昭和9)年3月3日京都RCのスポンサーにより、日本で11番目のクラブとして創立され、1940(昭和15)年から水曜会時代を経て、1949(昭和24)年8月25日再承認を受け、今年80年目を迎えることができました。



わがクラブをスポンサーとして、倉敷、松江、笠岡、津山、岡山南、岡山西、児島、岡山東、岡山北、岡山西南、牛窓の11クラブが設立され、それらのクラブをスポンサーとして設立された孫、曾孫、玄孫クラブを含めると、わがクラブに縁のあるクラブはRI2690地区内67クラブのうち、実に53クラブになります。

3月3日、記念事業として、山陽新聞社さん太ホールにおいて、静岡文化芸術大学文化政策学部准教授磯田道史氏をお招きして、「歴史から、いまを考える」という演題で、市民講演会を開催しました。300人を超える満員の聴衆の皆様は、江戸時代から現在にいたる岡山の状況、今後、岡山あるいは日本の目指すべき方向等、誠に広範な分野についての磯田氏の軽妙な語り口に堪能された様子でした。



3月5日、ホテルグランヴィア岡山において、記念式典ならびに祝賀会が開催されました。記念式典には岡山県知事代理、岡山市長代理、岡山商工会議所岡崎彬会頭、京都RC平野護副会長、森本信一地区ガバナー、高雄RC許清森会長、パストガバナー、岡山県下の各RCの会長、幹事その他多くの来賓の皆様のご出席の下、洗井健一会長の挨拶、来賓の方々のご祝辞のあと、記念事業として、岡山市へ、防災のための岡山市備蓄計画に協力して車椅子50台を贈呈し、山陽新聞社会事業団へ社会奉仕活動の一環として、障害者スポーツ支援のために寄付金100万円を贈呈しました。



祝賀会は、河原昭文実行委員長の挨拶のあと、高雄RC会長のご挨拶、岡崎彬商工会議所会頭の乾杯の音頭で始まり、途中、大森雅夫岡山市長、伊原木隆太岡山県知事の飛入りのご挨拶もあり、大いに盛り上がりました。会食の間、特別に結成された「岡山RC創立80周年祝祭室内管弦楽団」の演奏があり、最後は全員輪になって「手に手つないで」を合唱して閉会となりました。

岡山RCの会員110名は、90周年、100周年を目指して、ロータリー活動を続けていく決意を新たにいたしました。

岡山岡南RC創立20周年記念式典・祝宴を終えて

広報委員長 大高 直二

3月29日(土)、ホテルグランヴィアに於いて、岡山岡南RC創立20周年記念式典・祝宴を開催いたしました。森本信一ガバナー、大森雅夫岡山市長をはじめ来賓の方々、岡山県南17RCの会長・幹事、また当クラブ姉妹クラブである台中中興ロータリークラブからも40名の方々に出席いただき盛大な式になりました。



式典では来賓の方々よりの祝辞を賜り、姉妹クラブ縁組の締結継続・同意書の交換を行い、当クラブ第16代から第20代の会長・幹事がそれぞれ表彰を受けました。この度の記念事業として、岡山市「政田サッカー場」へソーラー式屋外大型時計を寄贈させていただきました。ファジアーノ岡山の選手はもちろん、多くのサポーターや市民にも喜んで頂ければ幸いです。WCS事業として、マニラ市内の病院・学校(4施設)にコンピュータや通信ネットワーク設備の寄贈もさせていただきました。



祝宴では柚木第18代パスト会長による「居合い」の演武を披露させていただき、スポットライトの中で、剣のひと振りごとに響く生の音・所作は多くの出席者から称賛いただきました。また、多くの大会でチャンピオンに輝いている津軽三味線の第一人者である 渋谷和生様



による津軽三味線の演奏は会場内を喝采の拍手に包まれました。全国大会一位の技に魅了され、時間が経つのを忘れるほどでした。

台中中興RCさんからアトラクションとして「涙そうそう」の合唱も披露いただき、サビの部分は全員で大合唱になり姉妹クラブの絆を深く感じることができました。道中のバスの中でもずっと練習をして来られたと後でお聞きし、5月に開催される台中中興RCさんの25周年式典にはこちらからも多くの会員でお祝いかけようと計画を進めています。



多くの方々の支えを頂き、無事に成人の年にあたる20周年を盛大に迎えたことを会員一同心より喜びとともに、感謝しています。

クラブ会員数も37名になり、昨年度は「地区内で最も増加率の高いクラブ」としての表彰も頂くことができました。20周年を迎えこれから益々全会員で増強にも励む所存です。

若いクラブから、存在感のあるクラブへと成長の歩みを進めて参ります。

今後とも何卒変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地区だより (2014年3月)

新会員ご紹介



ロータリー財団への寄付

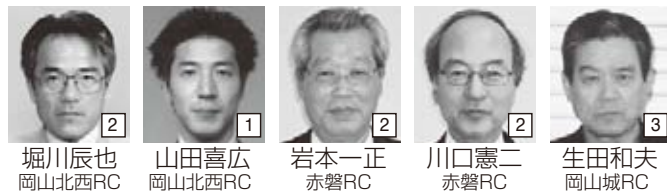
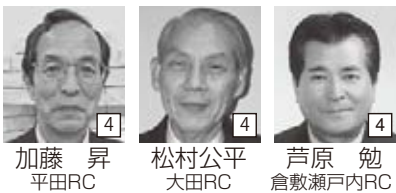
大口寄付者 (レベル 1)



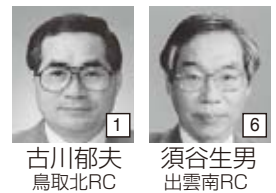
ベネファクター



ポール・ハリス・フェロー



ポリオ・プラスへの寄付



米山記念奨学会への寄付

米 山 功 労 者



ロータリー財団への寄付

メモリアル・コントリビューター

倉吉RC 羽合由紀恵(元会員の母)が、故次男、羽合浩次(元会員)のために 岡山城RC 生田和夫が、故兄、生田繁一のために
徳岡 学(元会員の長男)が、故父、徳岡淳一(元会員)のために

クラブ使用指定寄付 (ポリオプラス)

出雲中央RC 901.96ドル 益田RC 543.07ドル
児島東RC 490.20ドル 美作RC 500ドル

地区だより (2014年3月)

ロータリー財団への寄付

使途指定寄付をいただいた方々 (ポリオプラス)

出雲南RC	足立昭三 後藤英夫 石飛 真 木次順子 森山育子 小村尚子 田中 充 山内瑛明	吾郷紘一 原田明成 板倉靖雄 桑原京之 本常恵三 佐藤克朗 東儀君子 米原彰男	浅津和人 湊 正 伊藤禮嗣 榎野安浩 永田 実 塩野裕士 土井豆勝磨 米山幸男	福田康平 林 不動 龜谷 清 松本 毅 錦織 正 澄川達夫 打田理成 湯浅啓史	福代秀洋 樋野圭衣子 勝部径司 三代和鑑 錦織正二 須山泰則 山田隆三	福代新治 井上克夫 川上泰志 水谷厚志 西本巧恵 高橋扶治夫 山本茂生	布野浩之 石橋正吉 木村竜生 水谷 勲 小川 敬 竹下尚子 山本祥二	古川精次 石田修司 小玉 浩 持田隆治 小川哲治 竹内一夫 山本由香里
出雲中央RC	山本幹雄 古瀬俱之 伊藤 浩 小林和夫 鬼塚史彦 山口孝之	阿川嘉明 平田誠二 伊藤寛史 小林敏行 塩野和正 山本和正	荒木光治 廣原俊平 伊藤直子 児玉 治 高橋 章 山根一生	浅津博行 堀江卓史 金津初男 宮本 亨 高橋英一 山代裕始	朝山 裕 池淵俊雄 金山 均 森山 勝 多久和康司 矢田信一	朝山一玄 今岡余一良 金山義夫 永田 泊 鳥屋尾征幹 吉田禪教	福田健吉 石橋尚子 岸 篤彦 中村裕一 内田政智 吉田榮一	布野規子 石橋慶一 北脇樹二 岡 英司 牛尾尚正
益田西RC	大谷さな							
笠岡RC	塩飽繁樹							
倉敷南RC	白髪克也							

クラブ年次寄付

笠岡RC 277.50ドル(ミリオンダラーミール)	笠岡東RC 292.16ドル(ミリオンダラーミール、ゴルフ同好会)
児島東RC 156.86ドル(ミリオンダラーミール)	岡山北西RC 1,245.10ドル(ミリオンダラーミール)
赤磐RC 876.87ドル(ミリオンダラーミール、財団BOX,その他)	玉野RC 3,431.37ドル(その他)

年次寄付にご寄付いただいた方々

鳥取北RC	植田哲朗							
松江RC	泉 完次 福良純一 櫻井誠己 渡部伸夫	大谷公夫 矢野 仁 新宮靖人 錦織伸行 内田光教	勝谷哲也 乾 隆明 辻 謙次 白石貢也	勝部 晋 今井直樹 堀江 貴 伊原正人	信太秀夫 小村光寛 山本清海 仙田一恭	中村寿夫 後藤 勇 古瀬 誠 田江泰彦	永通烈志 小林祥泰 福田正明 加藤弘節	西村 康 佐藤尚士 長野真久
津山西RC	廣野勝彦							
岡山東RC	坪井俊郎	吉野夏己	堀 善直	藤原 徹				
岡山北西RC	福元裕之	入江直人	小菅英司					
赤磐RC	幡山寛念	宮下正晴	仁戸田昌城					
岡山南RC	三宅直子							

米山記念奨学会への寄付

クラブ普通寄付

米子南RC 150,000円	松江RC 167,500円	総社吉備路RC 15,000円
----------------	---------------	-----------------

クラブ特別寄付

出雲南RC 30,500円(米山ランチ)	笠岡RC 28,305円(米山ランチ)
笠岡東RC 32,800円(米山ランチ、ゴルフ同好会)	

年次寄付にご寄付いただいた方々

鳥取RC	岸本信一	松本宏忠						
米子RC	籠 弘信							
総社吉備路RC	秋山 伸 片岡太郎 関 靖文 渡辺英男 和氣一雄	江本公一 茅原健次 高木裕弘 薬師寺公一	藤井映子 小原忠志 高北敏明 山本有道	藤井慶祐 源佑一郎 高見佳久 山脇典之	福本里志 宮本幸男 友野 勤 福谷信行	池上亮太郎 小原哲也 津高 篤 笹沼靖憲	一坪雅代 真田信典 塚原隆弥 田村謙治	片岡公省 佐野重治 植木 守 谷本耕一
倉敷水島RC	遠藤栄治 三宅幸治 入江幸一	藤井精司 小野文彦 近藤研二	藤井重信 阪本 均 小山恭男	河村 進 笹山悦郎 宮原一夫	近藤幸二 宗田園昭 中田利幸	近藤修六 辻 俊彦	桑田育郎 瀧澤 正	三宅孝一 荒木淳一

地区だより (2014年3月)

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。



米本哲人 会員
(鳥取西RC)

2014年3月14日ご逝去(享年83歳)
1980年6月13日入会

医療法人社団米本内科 院長
循環器科医
チャーターメンバー、1993-1994年度会長、
各種理事・役員・委員長歴任
ロータリー財団大口寄付者(レベル1)、
ベネファクター、米山功労者メジャードナー、

文庫通信

(318号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演他より

◎「戦国を生き抜いた知恵」	細川 護熙	2013	7p	(D.2650地区大会記念誌)
◎「はやぶさプロジェクトの成果・教訓」	川口淳一郎	2013	4p	(D.2820地区大会記録)
◎「日本人の持つべき国家観について」	渡部 昇一	2013	11p	(D.2520地区大会記録誌)
◎「世界の人々のために」	緒方 貞子	2013	5p	(第11回日韓親善会議報告書)
◎「これからの両国のきずな」	山東 昭子	2013	5p	(第11回日韓親善会議報告書)
◎「軍艦『筑波』-偉大なる航海(上)(下)」	岡村 健	2013	23p	(福岡南RC月報)
◎「『がんばらない』けど『あきらめない』」	鎌田 實	2013	1p	(D.2840地区大会報告書)
◎「これからの生き方」	山田 法胤	2013	2p	(D.2700地区大会の記録)
◎「人が動き街が動く～私のリーダーシップ論」	セラ・マリカシグス	2013	21p	(D.2800地区大会記念誌)
◎「平和と命」	深川 純一	2013	20p	(第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
◎「掃除実践60年の『人生と経営の哲学』」	鍵山秀三郎	2014	10p	(D.2710地区大会特集号)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

先月号の訂正とお詫び

地区だより4月号(VOL.10)に下記の誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

P.8 ポール・ハリス・フェローの項目で、頃末謙治様(笠岡RC)1回→2回

P.9 米山記念奨学会への寄付のクラブ特別寄付笠岡RCが記載漏れに付き5月号(VOL.11)に記載

P.9 ロータリー財団への寄付項目で年次寄付をいただいた方々。

岡山中央RC、二木安一様→仁木安一様

出席報告(2014.3月)

クラブ名	make-up後出席率	ホームクラブ出席率	例会数	会 員 数				
				7月1日	3月末	内女性会員	増減	
第1グループ	鳥 取	97.91%	81.82%	4	59	62	3	3
	倉 吉	83.93%	69.20%	4	56	56	2	0
	鳥 取 北	83.33%	79.03%	4	50	49	6	▲1
	智 頭	93.18%	86.36%	4	10	11	0	1
	倉 吉 東	89.63%	63.41%	4	42	41	3	▲1
	鳥 取 西	82.67%	78.67%	3	52	49	0	▲3
	鳥 取 中央	85.00%	78.89%	5	38	36	0	▲2
	倉 吉 中央	77.17%	73.91%	4	22	23	2	1
計(8)	86.60%	76.41%	/	329	327	16	▲2	
第2グループ	米 子	79.49%	56.41%	3	63	66	3	3
	境 港	77.06%	70.24%	4	44	44	0	0
	米 子 東	76.14%	64.49%	4	87	89	7	2
	米 子 南	77.36%	68.30%	5	52	56	3	4
	米子中央	79.17%	66.67%	4	35	36	2	1
	計(5)	77.84%	65.22%	/	281	291	15	10
第3グループ	松 江	92.08%	69.73%	4	64	67	0	3
	松 江 南	93.69%	81.14%	5	64	59	4	▲5
	隠 岐 西 郷	77.38%	60.71%	4	22	22	0	0
	松 江 東	93.79%	76.00%	3	56	62	0	6
	松江しんじ湖	89.88%	72.37%	4	65	67	11	2
計(5)	89.36%	71.99%	/	271	277	15	6	
第4グループ	出 雲	80.43%	71.01%	3	47	48	1	1
	大 社	80.47%	63.91%	4	47	48	3	1
	出 雲 南	95.63%	74.86%	3	60	61	7	1
	平 田	86.32%	82.05%	3	40	43	2	3
	出雲中央	76.63%	73.91%	4	44	46	3	2
計(5)	83.90%	73.15%	/	238	246	16	8	
第5グループ	浜 田	91.06%	75.32%	4	54	59	1	5
	益 田	88.33%	76.67%	3	19	20	2	1
	江 津	79.41%	72.79%	4	32	34	1	4
	大 田	92.71%	82.29%	4	24	25	3	1
	益 田 西	94.07%	75.42%	4	30	30	4	0
計(5)	89.12%	76.50%	/	159	168	11	11	
第6グループ	笠 岡	89.47%	84.71%	4	49	50	0	1
	玉 島	90.09%	85.59%	4	28	28	1	0
	井 原	86.22%	71.94%	5	45	46	3	1
	総 社	74.47%	70.00%	4	38	38	7	0
	高 梁	82.61%	73.75%	4	39	41	1	2
	新 見	76.92%	75.00%	4	24	25	2	1
	笠 岡 東	95.61%	82.46%	3	38	38	1	0
	総社吉備路	84.80%	80.00%	4	33	33	2	0
計(8)	85.03%	77.93%	/	294	299	17	5	

クラブ名	make-up後出席率	ホームクラブ出席率	例会数	会 員 数				
				7月1日	3月末	内女性会員	増減	
第7グループ	倉 敷	97.62%	81.85%	4	84	90	0	6
	倉 敷 南	84.57%	58.96%	3	63	62	5	▲1
	児 島	73.02%	61.11%	4	29	32	0	3
	児 島 東	99.00%	96.00%	5	21	21	0	0
	倉敷瀬戸内	82.88%	71.63%	4	35	37	3	2
	倉 敷 東	94.19%	89.68%	4	40	39	4	▲1
	倉 敷 水 島	92.54%	89.39%	4	24	21	0	▲3
	倉 敷 中央	73.21%	73.21%	4	14	15	3	1
計(7)	87.13%	77.73%	/	310	317	15	7	
第8グループ	津 山	78.93%	72.41%	3	86	88	3	2
	美 作	86.71%	83.92%	4	35	37	1	2
	津 山 西	89.17%	82.35%	4	32	31	5	0
	真 庭	89.12%	67.35%	4	34	37	0	3
	津山中央	84.29%	82.86%	3	27	26	2	▲1
計(5)	85.64%	77.78%	/	214	219	11	6	
第9グループ	岡 山	93.40%	76.28%	4	105	110	0	5
	岡 山 東	96.41%	86.86%	4	88	90	0	2
	備 前	63.13%	56.91%	3	65	66	9	1
	岡山後楽園	84.91%	73.11%	4	53	53	0	0
	岡山北西	82.96%	74.07%	5	51	55	3	4
	赤 磐	78.33%	67.80%	4	19	18	0	▲1
計(6)	83.19%	72.51%	/	381	392	12	11	
第10グループ	岡 山 南	80.88%	67.97%	3	153	155	14	2
	玉 野	82.86%	75.24%	3	35	35	0	0
	岡 山 北	76.14%	59.66%	4	45	44	0	▲1
	岡 山 中央	82.42%	73.56%	3	40	38	2	▲2
	牛 窓	92.00%	92.00%	5	5	5	0	0
	岡山旭川	79.00%	67.00%	4	27	25	1	▲2
計(6)	82.21%	72.57%	/	305	302	17	▲3	
第11グループ	岡 山 西	84.12%	72.83%	5	73	75	6	2
	岡 山 西南	80.62%	71.88%	3	58	56	4	▲2
	岡 山 備 南	89.52%	85.44%	4	30	31	2	1
	岡山丸の内	73.76%	61.70%	4	33	36	2	3
	岡 山 城	95.00%	89.00%	4	25	26	1	1
	岡山岡南	79.72%	67.38%	4	35	37	5	2
計(6)	83.79%	74.70%	/	254	261	20	7	

クラブ数	67RC
7月1日現在会員数	3,036名
3月末日会員数	3,099名
内 女性会員数	165名
純増	66名
3月出席率	make-up後 84.99% ホームクラブ 74.60%

わが町 隠れスポット



旧津山扇形機関車庫 岡山県津山市

奥行22.1mで17線あり、京都の「梅小路」に次ぐ日本で二番目の規模を誇る扇形機関車庫。地方での鉄道が全盛期を誇った雄大な風景を残し、歴史的にも貴重な文化遺産となっている。4月～11月までの第2・4土曜、日曜を中心に予約制で見学会を実施している。



■森本信一ガバナー事務所

〒708-0022 岡山県津山市山下98-1
津山社会教育文化財団 内
TEL (0868) 35-2307 FAX (0868) 35-2308
E-mail letter@rid2690.jp
<http://www.rid2690.jp/>

(ホームページよりPDFをダウンロードできます。)



みまさかのくに
美作国建国1300年

平安時代に編纂された国史「続日本紀」によると美作の国(岡山県北東部)は和銅6年(713)備前の国の6郡を割いて置かれたとあります。これは国際ロータリ第2690地区第8グループの位置とほぼ重なります。平成25年(2013)は、美作の国が誕生してから1300年にあたります。